

四月十一日。震災から一カ月後。私は福島県いわき市にいた。福島第一原発の事故で被災した町を、ドキュメンタリー映画に記録するためだ。

事前の取材で、原発のある大熊町で半導体関連の工場を経営していた岩本久美さん(六五)と知り合っていた。その日は翌日、岩本さんが警戒区域内に入る日だった。避難先のいわき市で工場を再開するため、必要な資材を取りに自宅に戻ろうとしていた。

「帰宅」手順の確認をする岩本さんを取材していたその時、震度6弱の余震が発生。激しく揺れた次の瞬間、停電した。取材を切り上げて宿に向かったが、信号が全停止し、道は大渋滞。激しい雷と豪雨にも襲われた。ラジオからは津波注意報の情報が。津波が車や家をのみ込む震災当日の映像が脳裏を

フクシマからの報告



海南 友子

後で分かった妊娠

親の苦しみに切実に

よぎった。旅館にたどり着いたのは一時間後。真っ暗な部屋、

断水、絶え間ない余震。と

旅館にたどり着いたのは一時間後。真っ暗な部屋、断水、絶え間ない余震。と

で命を落とす恐怖と「余震で原発に何か起きていないか」という不安で、まんじりともせず夜を明かした。

東京電力は五月になって震災直後のメルトタウンの事実を発表。もし知っていたら、福島には通っていない。あの日、吸い込んだ風

断水、絶え間ない余震。と旅館にたどり着いたのは一時間後。真っ暗な部屋、断水、絶え間ない余震。と

で命を落とす恐怖と「余震で原発に何か起きていないか」という不安で、まんじりともせず夜を明かした。

東京電力は五月になって震災直後のメルトタウンの事実を発表。もし知っていたら、福島には通っていない。あの日、吸い込んだ風

東京電力は五月になって震災直後のメルトタウンの事実を発表。もし知っていたら、福島には通っていない。あの日、吸い込んだ風

断水、絶え間ない余震。と旅館にたどり着いたのは一時間後。真っ暗な部屋、断水、絶え間ない余震。と

で命を落とす恐怖と「余震で原発に何か起きていないか」という不安で、まんじりともせず夜を明かした。

東京電力は五月になって震災直後のメルトタウンの事実を発表。もし知っていたら、福島には通っていない。あの日、吸い込んだ風

東京電力は五月になって震災直後のメルトタウンの事実を発表。もし知っていたら、福島には通っていない。あの日、吸い込んだ風

断水、絶え間ない余震。と旅館にたどり着いたのは一時間後。真っ暗な部屋、断水、絶え間ない余震。と

で命を落とす恐怖と「余震で原発に何か起きていないか」という不安で、まんじりともせず夜を明かした。

東京電力は五月になって震災直後のメルトタウンの事実を発表。もし知っていたら、福島には通っていない。あの日、吸い込んだ風

東京電力は五月になって震災直後のメルトタウンの事実を発表。もし知っていたら、福島には通っていない。あの日、吸い込んだ風

断水、絶え間ない余震。と旅館にたどり着いたのは一時間後。真っ暗な部屋、断水、絶え間ない余震。と

で命を落とす恐怖と「余震で原発に何か起きていないか」という不安で、まんじりともせず夜を明かした。

東京電力は五月になって震災直後のメルトタウンの事実を発表。もし知っていたら、福島には通っていない。あの日、吸い込んだ風

東京電力は五月になって震災直後のメルトタウンの事実を発表。もし知っていたら、福島には通っていない。あの日、吸い込んだ風

避難先の東京で親戚の家に身を寄せていた小山さんと次男

